

## 令和8年度いばらき高齢者プラン 21 推進委員会 議事概要

### 【開催概要】

- 1 日 時： 令和8年8月21日（金） 14：00～15：30
- 2 場 所： 茨城県庁舎行政棟6階 災害対策本部室
- 3 出席委員： 14名
- 4 議 題： （1）第9期いばらき高齢者プラン 21 の進捗状況について  
（2）第10期いばらき高齢者プラン 21 について（策定の進め方）  
（3）その他

### 【議事結果（主な意見等）】

○国の方針としては在宅医療を推進しているが、在宅診療所の医師数の過不足についてデータはあるか。また、市町村の地域包括支援センターから不足している等の声はあるか。

→在宅診療をおこなっている医師数については把握できていない。市町村からの声についても確認できてはいないが、かかりつけ医のWG等の開催を予定しており、市町村に確認しながら今後取り組んでいきたい。

○訪問看護事業所の数は増えているが、質を伴ったサービス提供が問われている。県は訪問介護事業所の許可を行っている立場なので、しっかり考えていただきたい。また、看護小規模多機能型居宅介護事業所は在宅介護を支える重要な場所なので、県でも協力いただきたい。

○通所介護などの通所系サービスの実績が、令和6年度実績よりも令和7年度の方が下がっているところがある。通所系のサービスは事業継続が厳しい状況で、人材の確保という問題もあるが、事業所間の競争による淘汰が始まっている感じがあるが、状況等わかれば教えていただきたい。  
→令和7年度の通所介護サービスの状況については、廃止よりも新規指定の方が多くなっている。廃止の理由としては、人材不足、利用者の不足のほか、物価高騰などの声もある。

人材不足については、他産業との人材獲得競争がある。他産業は賃上げを実施しており、中々介護分野に目を向けてもらえないため、やりがい等のPRを工夫していくほか、仕事を切り出して今まで眠っていた人材を活用していく必要がある。

○「地域ケア会議における管理栄養士・栄養士の活用市町村」の率が低いが、市町村が栄養士を呼びたい時に、人材がどこにいるかわからないのかもしれない。栄養士会にお問い合わせいただければ、地域の栄養士を紹介させていただく。

○かかりつけ医の認知症対応力向上研修について、目標値に対する実績だけでなく、現状のかかりつけ医全体での割合も意識して取り組んでもらいたい。

○認知症サポート医について、実際に動いているサポート医の数を県庁で把握した上で、不足している地域への対策を医師会としても考えていきたい。

→今年度調査を実施予定なので、実態の把握に努めていく。

○茨城県医師会のプロジェクトの柱にも認知症が入っている。お互いに意見交換を行い、プランに入れ込んでいただきたい。

○社会福祉法の改正で、いわゆる「頼れる身寄りのない高齢者への支援」について、県社会福祉協議会が預かり、進めていかなければならない課題となっている。市町村の実施体制を作っていきけるような後押しをお願いしたい。

→今回のプランで独居高齢者について新規で今回追加させていただいたのは、社会福祉法の改正等を踏まえてである。県社会福祉協議会と連携して検討していきたい。

○数値目標「サービス・活動〇を実施している市町村の数」について、市町村の数だけでなく、各市町村が実施している数（人口当たり）も把握してもらいたい。

→取組自体が始まったばかりで、人口当たりの数としては出ない。まずは実施している市町村数で数値目標を設定する。